

### 3-34 清掃・環境（圏域：全市域）

#### 3-34-1 施設再編の方針

対象施設
清掃事務所、別府市リサイクル情報センター、し尿処理場春木苑、中央浄化センター（亀川中継ポンプ場、北浜中継ポンプ場、汐見中継ポンプ場、春木中継ポンプ場、山田中継ポンプ場）
施設再編の方針
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 清掃事務所については、今後のごみ収集事業の方向性（直営または民間委託）を踏まえながら施設の利活用を検討します。これまでの民間委託により事業が縮小し、事務所にも余裕が発生していることから、他施設からの機能移転受け入れ等を含め施設の有効活用を図ります。</li><li>➤ 別府市リサイクル情報センターの機能は、ごみの減量および資源の再利用を推進するために重要であり、今後も機能を維持しますが、会議室の利用率が非常に低く、建物規模と比較して使用されていないスペースが多いため、規模縮小を図ります。その際、市民への啓発を主たる目的とすることから、より利便性が高く、市民にとって利用しやすい場所への機能移転の可能性についても検討します。同時に、コスト面の改善を図ります。</li><li>➤ し尿処理場春木苑は、平成 28 年度より設計・施工一括発注方式により建替工事に着手しています。事業計画では、し尿 3kL/日、浄化槽汚泥 72kL/日の処理量をもつ施設となる予定です。</li><li>➤ 中央浄化センターおよび関連する 5 中継ポンプ場は、『別府市公共下水道長寿命化計画』の中で耐震化も含めて計画的に保全を進めていきます。</li></ul>

#### 3-34-2 現状分析

##### ① 施設の概要

清掃事務所は、環境課の技能労務職員事務所として、平成 5 年に現在の場所に移転しました。RC 造 2 階建 2,612 m<sup>2</sup>と、比較的大きな施設です。清掃事務所機能は、第 1 次（平成 18 年度）から第 2 次（平成 25 年度）を経て、狹隘地区、山間部地区等を除く地域における収集業務の一部を民間に委託しているため、機能は縮小しています。

別府市リサイクル情報センターは、商工課所管であった昭和 54 年建築の建物 635 m<sup>2</sup>を、平成 21 年から別府市リサイクル情報センターとして使用しています。また、日常業務としてリユース品の持込みと譲渡を行い、2 ヶ月に 1 回粗大ごみとして回収した自転車や家具を修理して無料で提供する譲渡会を開催しています。また、社会見学等の受入れ、出前講座も行っています。

し尿処理場春木苑は、市内全域の生し尿及び浄化槽汚泥の処理を目的に設置されています。

中央浄化センターおよび関連する 5 中継ポンプ場は、公共下水道計画区域の下水道の処理を目的に設置されています。

## ② ポートフォリオ分析結果

清掃・環境施設には、清掃事務所、別府市リサイクル情報センター、し尿処理場春木苑、中央浄化センターの4施設があります。これらの清掃・環境施設は、施設機能を確保する必要があり存続する施設であるため、ポートフォリオ分析は実施せず、品質状況にもとづいて、維持更新時期を検討します。

台帳番号	施設名称	占有面積(m <sup>2</sup> )	品質				平均偏差値(ハード)
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率(%)	偏差値	
31	し尿処理場春木苑	891.9	44.8	41.4	90.9	53.0	47.2
32	清掃事務所	2,612.7	21.9	55.0	100.0	55.3	55.2
422	別府市リサイクル情報センター	635.0	35.0	47.2	0.0	30.0	38.6
313	中央浄化センター	30,177.1	34.7	47.4	9.0	32.3	39.8

図 83 各指標の基礎データ（清掃・環境）

## ③ 老朽化の状況

清掃事務所は建築後 20 年が経過しており、建物に目立った不具合はないものの、電気設備等の更新年数の超過により、設備関係の修繕や改修工事が増加傾向にあります。

別府市リサイクル情報センターについては、築 35 年以上が経過した旧耐震基準の建物です。埋立地に建設したため地盤が悪く、建物の使用に問題ないものの、老朽化によるひび割れ等が発生しており、建物周囲の舗装は状態がよくありません。

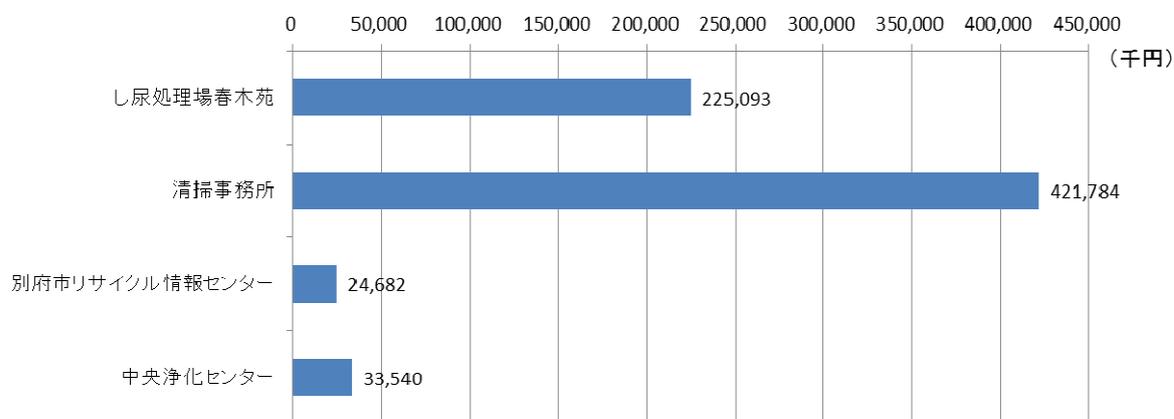
し尿処理場春木苑は、建築後約 45 年が経過し、管理棟の耐震化は完了していますが、施設の特性上、劣化が著しく進んでいます。

中央浄化センターおよび関連する 5 中継ポンプ場は、いずれも建築後 35 年以上が経過しています。

## ④ コスト状況

いずれの施設も市負担額が大きくなっています。効率的な運営が求められます。

別府市リサイクル情報センターは、平成 26 年度の年間維持管理コスト 2,664 万円のうち 90% が人件費です。会議室等の使用については、ごみ減量およびリサイクルの啓発を目的とした団体に対し使用を許可しているため、利用率は 2.2% と低く、使用料等は設定していません。



※平成 26 年度実績に基づいて作成

図 84 各施設の市負担額